

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890200116		
法人名	株式会社 日立ライフ		
事業所名	小規模多機能型居宅介護 らいふホーム青葉台	ユニット名	—
所在地	〒316-0032 茨城県日立市西成沢町4-1-1		
自己評価作成日	平成25年8月12日	評価結果 市町村受理日	平成26年2月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_021_kani=true&JigyosyoCd=0890200116-00&PrefCd=08&VersionCd=021
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年10月15日	評価機関 決 済 日	平成26年2月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・理念「誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるように」を共有し、利用者様の自主性と今までの生活歴、今後の生活の継続性を大切にされたケアを展開している。

・ほっと心がなごむ家、いつでも笑い声が聞こえ、自宅にいるのと同じように過ごしていただける畳の部屋、ゆったりとした雰囲気の中で生活できるよう、スタッフ全員優しい気持ちと笑顔で、ケアをしている。日に何度か、庭を眺めながらの、歩行練習や、ラジオ体操などは、スタッフとご利用者様との大切なコミュニケーションの場であり、ご利用者様の励みにもなっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

大規模な団地の中にある、民家をリフォームしたアットホームな雰囲気の事業所で、近くには「助川山市民の森」の散歩コースがあり、自然に恵まれた環境となっている。

自治会に加入しているほか、近隣住民が見学に訪れたり、季節の野菜や花などを届けてくれたりしている。

事業所からは採集した朝顔の種を差し上げるなど、双方向の交流をしている。

管理者は6ヶ月に1回職員面談を行い、職員が希望や目標を記載する職員面接シートを基に話し合い、職員が向上心を持ちながら業務に取り組めるよう努めている。

毎月本部で、系列の介護事業所の管理者による食事委員会を開催し、食事の改善に向けた話し合いを行っている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目に入る場所に「理念」を掲げ、職員一人ひとりが、理念を理解・共有し、日々のサービス実践に努めている。	介護部門を統括するシルバーサービス本部が、「誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるように」との地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成しているが、事業所独自の理念を作成するまでには至っていない。 理念を事務室や台所など、職員の目に付く場所に掲示するとともに、毎月のミーティングで確認し、実践に努めている。	全職員で話し合っって事業所独自の理念を作成することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節の行事や、定期的に地域のボランティア（歌・踊り・民謡・ハーモニカ・小物作り等）に來訪していただき、交流を行なっている。	加入している自治会の回覧板が届いたり、近隣住民が季節の野菜や花、鉢植を届けてくれたりしている。 事業所は近隣住民の見学を受け入れたり、事業所で採取した朝顔の種をあげたりしており、地域の人々と双方向の交流をしている。 事業所で行う夏祭りに近隣の子ども達の参加を得ている。 歌や踊り、民謡、ハーモニカ、小物作りなどのボランティアを受け入れて利用者が交流できるよう支援している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時や直接家族に対して認知症の方に対するケアについてお話し、認知症に対する理解を深めるよう、支援している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、定期的に行政の職員、地域の自治会長、民生委員等に参加していただき、運営状況の報告や話し合いを行っている。	利用者の代表や市職員、民生委員、地域住民の代表、職員が出席する運営推進会議を概ね2ヶ月に1回団地内の集会所を借りて開催している。 会議では事業所の運営状況や利用者の現況を報告しているほか、民生委員から一人暮らしの高齢者などの情報を得ている。 事業所の駐車場付近の藪に出没するイノシシやタヌキの対策について運営推進会議で話し合い、近隣住民の協力を得ながら雑草を刈ったり、樹木を伐採したりして害獣対策をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所や社会福祉協議会等と、連携を密にとることで運営面での透明性を心がけると同時に、地域に開かれた施設作りを目指している。	市担当者が運営推進会議に出席しており、管理者は事業所の実情やサービスの取組みを理解してもらうよう努めている。 管理者は市役所を度々訪問して情報を得るなどしている。 年1回から2回開催する市社会福祉協議会主催の会議に市担当者が出席しており、管理者と一緒にボランティア派遣の依頼をしてもらえるなどの協力を得ている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行なう事による弊害を職員全員が理解し、11項目の具体的な行為を行なわないよう、職員による目配り気配りを徹底している。	職員は毎月の職員ミーティングや年1回の内部研修で、身体拘束の弊害を理解している。 身体拘束防止チェックシートを作成し、身体拘束を行わないケアに取り組むとともに、日中玄関や居室は施錠せず、利用者の行動に目配りや気配りをしながら見守っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月のスタッフミーティングで虐待についての意識を高め、事業所内での虐待がない様、又ご利用者様に対しては入浴時身体状況の確認や、来所時の表情や雰囲気などからいち早く異変を察知できるよう、スタッフ間の連絡を密にし、防止に努めている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員ミーティングにより、権利擁護に関する制度の理解に努め、必要性のある利用者、家族の発見に努め、必要性があれば随時、市町村担当者を通じ、関係機関に繋げるようにしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	初回訪問時に丁寧に説明し、内容を読んでいただいているから契約を締結している。不明な点については直接お会いして説明し、ご理解をいただけるよう対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用時の家族との連絡帳でその都度の連絡や意見要望を連絡、調整している。重要事項説明書に苦情相談窓口を明示し、意見や要望があった場合は速やかに対応できるようにしている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受け窓口を明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明している。 利用者からは日々の会話の中から、家族等からは送迎時や連絡帳、電話などで意見や要望を聞いている。 開設後初めての夏祭りを実施したが、実施前に「1日を通しての実施は、体力面で利用者や家族等の負担になるのではないか」との意見が出たため、検討して負担のないプログラムに変更するなど、出た意見等を運営に反映させている。 毎月市の介護相談員が来訪し、利用者から意見や要望を聞いている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回、職員ミーティングを実施し職員の意見や提案を運営に反映させている。 月1回、同会社内の事業所が、全体の運営に関する会議を開催し、意見交換をしている。	管理者は月1回開催する職員ミーティングで、職員が意見や提案を出せるような雰囲気づくりに努めている。 管理者は6ヶ月に1回職員面談を実施し、希望や目標を記載する職員面接シートを基に話し合い、出た意見や提案を運営に反映させている。 行事に関することや「利用者が永年培ってきた特技や趣味を発揮する機会を日常的に取り入れたい」など、職員から出た提案を運営に反映させるよう努めるとともに、スキルアップに挑戦したり、向上心をもって業務に取り組めるような職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昼礼を行い、職員1人ひとりに日々意見を聞きいている。また、業務を前向きに励めるよう、コミュニケーション面談などを行い、個人の目標設定を行うなど、各自が向上心を持って働ける職場環境作りに努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修会などの情報を各スタッフに伝達し、自主的に参加ができるようにしている。外部研修に参加した場合は、内部研修の一環として伝達講習を行なう。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市社協による事業者連絡会に参加し、市内の事業所の代表者と意見交換を行っている。日立市ケアマネジャー連絡協議会に会員登録しており、研修や情報交換に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回の訪問時にご本人やご家族のお話を傾聴し、不安に思っていることを理解し、サービスを提案することで安心していただけるよう働きかけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	自宅訪問をし、ご本人の生活歴や現在の家庭環境などを聞き取りする中で、信頼関係を醸成し、不安な事や要望などを話しやすい雰囲気作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族との話しあいの中で状況によっては他の利用方法があることを説明し、他施設の利用を勧める場合もある。また、福祉用具や住宅改修、医療系の介護保険サービス（訪問リハビリなど）の利用も、状況に応じて勧める。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が自分でできることはやっ ていただき、できないところの手 伝いをし、共に出来ることは、一 緒に行なっている。（テーブル拭き や洗濯物たたみなど、生活の一部 として手伝っていただいている）		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への連絡帳での情報交換や電話での話しあい、送迎時などでの会話を通して、ご利用者様の情報を共有し、家族と共に支えあえる関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設に自由に面会に来ていただき一緒に過ごしていただくなどの配慮をしている。また、本人と友人の電話などをサポートするなど、いつでも繋がっているということを感じていただけるケアを提供している。	昔から付き合いのあった近所の友人や家族、甥、姪などが自由に面会に来ており、利用者と一緒にお茶を飲みながら話ができるよう支援している。 かつてよく行った海や公園、記念館に外出支援をするほか、馴染みの店に買い物に行くなど、人や場所との関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、全体の雰囲気常に気配りを行い、良い雰囲気の中で過ごしていただけるよう、声かけしている。特に仲間に入りにくい人に配慮しながら声かけ、促しをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了した方でも相談・支援について対応できる旨、声かけを行なっている。身体状況の変化などで病院に入院した場合でも、随時相談を受け付け、サービス利用の復帰や他の適切なサービスへの紹介など、安心して生活していただけるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントにより、今までの生活歴を把握しつつ、ご本人の希望や意向を取り入れたケアが出来るよう努めている。できるだけご家庭での生活の延長として生活していただけるよう、環境設定に努めている。	職員は利用者一人ひとりの生活歴を参考に日常会話や表情から思いや意向の把握に努め、カメラで撮影した趣味の写真を事業所で披露したり、編み物の特技を活かして他の利用者や職員に指導する機会をつくったりしている。思いの把握が困難な利用者の場合は、行動や表情を観察したり、家族等から話を聞いたりして理解に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントやご利用者様との日常会話、家族からの生活状況などの情報を職員が共有・把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りをきちんとして、一人ひとりの現状把握に努めている。ご家族との連絡帳の活用により、ご家族からの情報を把握している。個別記録にご本人の行動などを記録し、できること、していることなどの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なモニタリング訪問により、ご本人やご家族からの、ご意見やご要望を伺い、必要に応じてサービス事業所の担当者も含め、話しあいを行なう。	介護計画は利用者や家族等の意見や要望を取り入れながら、毎月行うモニタリングの結果を職員で話し合っ作成している。介護計画は6ヶ月もしくは1年の設定期間毎に見直すほか、心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々個別記録に記入し、職員間で情報を共有している。記録による申送りの他にも、口頭での申し送りや、日々の表情の変化や行動の変化などを話しあい、より良いケアにつながるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の状況に応じて柔軟な支援、サービスに対応ができるよう努めている。（その時々に応じて送迎や食事、お泊り）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	アセスメントの中で、その人を取りまく地域の協力者（友人、ボランティア、民生委員等）を把握し、継続して集まり合いを持っていただけるよう、協力をお願いしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に病院受診については、ご家族に受診していただいている。ご本人の身体状況等、適宜把握し、状況に応じて受診していただいている。	契約時に利用者や家族等から希望するかかりつけ医を確認している。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本とし、サービス利用時に心身の状態に変化が生じた場合は、送迎時や電話で家族等に報告して適切な医療が受けられるように支援している。 受診結果は電話や連絡帳で必ず報告を受けるとともに、記録に残して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の変化について適宜、把握した情報を看護師に申し送り、ご家族との連絡を密に取りながら必要に応じて、受診等が受けられるよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	必要に応じて病院関係者と連絡を取り情報収集に努め、退院の際スムーズに、サービス利用に繋がれるよう定期的に面会し、病棟看護師からの情報収集に努める。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けての対応については、ご家族、訪問医療チームとの連携を密にし、安心して最期が迎えられるように、職員一丸となって支援体制を整えている。	重度化した場合や終末期の対応は在宅で行うことを契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。 事業所としてできることとできないことを明記した重度化・終末期対応指針を作成したり、マニュアルを作成するまでには至っていない。	事業所としてできることとできないことを明記した重度化・終末期対応指針やマニュアルを作成し、利用者や家族等に説明することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急連絡組織図を整備し、職員会議等で定期的を確認している。普通救命講習Ⅰを終了した職員を配置している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を計画し、実施している。運営推進会議を通じ、地域住民と連携を取りながら災害対策を話し合い、協力体制を築くよう努めている。	11月に実施予定の避難訓練も含め、年2回避難訓練を実施するとともに、課題を話し合って実施記録を作成している。 「誰もが通報できるように電話付近に連絡先を掲示する」や「人がいないと思われる場所も、逃げ遅れた人がいないか確認する」との消防署の講評を記録に残している。 消防署指導のもと通報訓練や避難訓練、消火訓練を行っているが、夜間想定での避難訓練を実施したり、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 災害に備え、近隣にある介護部門を統括しているシルバーサービス本部に食糧や飲料水を備蓄している。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう、運営推進会議等で働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人のアセスメントの生活歴から自尊心を傷つけないよう細心の注意を払い、声のトーンやスピードなどに配慮しながら、声かけするよう支援している。	職員は入浴やトイレ誘導時には、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応をしている。 個人情報に関する書類は事務室の鍵のかかる所定の場所に保管し、取り扱いには十分注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の希望を聞いて決定する。傾聴や話すことを促すことにより自己決定できるように働きかけをしている。意思表示が困難なご利用者様については、できるだけ簡易な方法で選択していただけるよう配慮し、自己決定ができるような働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の希望を優先し無理強いさせることのないよう、一人ひとりのペースに合わせた生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人、ご家族からの希望があった時に協力を依頼している理美容事業所に来訪していただき、カットや毛染めなどを行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おしぼりをまいてもらったり、食事前後のテーブル拭きをしていた。時々、たこ焼きやホットケーキなどのおやつ作りを楽しんでいただいている。	系列の食品会社の栄養士が作成した献立で、彩りのよいカロリー計算された食事となっている。献立に基づいた食材が届くほか、職員は必要な物をスーパーなどで購入している。朝食や夕食、日曜日の食事は利用者と職員と一緒に同じ食事を摂り、昼食は検食者一人が利用者と同じ食事を摂っている。利用者はできる範囲でおしぼりの準備や食事前後のテーブル拭きをしている。毎月本部で系列の介護事業所の管理者による食事委員会を開催し、食事の改善に向けた話し合いをしている。花見の時のおにぎり弁当や家族等との外食も利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を記録し、一人ひとりの状態にあわせた食事量、水分量が確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず一人ひとりに応じた口腔ケアをしている。その際口腔内を点検、残渣物がないよう注意している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄感覚が鈍っているご利用者様にも、できるだけ定期的にトイレに声かけ、誘導を行っている。介助が必要な方でも、自分でできる事はやっていただいている。	職員は排泄記録から利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、パターンを基にトイレ誘導をしたり、食事前後や帰宅前にも声かけや誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。おむつを使用している利用者でもポータブルトイレを活用したり、トイレ誘導をすることで、おむつの使用量を減らし、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録をチェックし、水分量、食事内容、量を把握しながら、スムーズに排便できるよう支援している。 牛乳やヨーグルトなどの乳製品を提供したり、体操なども取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や希望を聞き、一人ひとりが安らいで入浴できるよう心がけている。ジェットバスは皆様にとっても喜ばれている。 午前だけでなく午後も行っている。	利用者一人ひとりの体調や希望にそって午前または午後に入浴ができるよう支援するとともに、泊まりの利用者には週3回から4回の入浴を支援している。 民家をリフォームした事業所なので、浴室の広さは一般家庭と同じだが、必要個所に手摺を設置し、安心して入浴ができるよう工夫している。 ジェットバスのほか、季節毎に柚子湯や菖蒲湯を取り入れており、利用者の楽しみとなっている。 入浴を拒む利用者の場合は無理強いせず、職員がタイミングを見計って声かけをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	アセスメントにより、ご自宅での生活パターンを把握し、できるだけご自宅と同じように休息できる時間がとれるようにしている。日中も居室で休めるように声掛けし、無理なく生活できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が管理している。できるだけ薬局から発行される薬剤情報などから、情報収集するように努め、病状や薬の目的を理解し、病状の変化を職員間で確認しあっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメントにより、生活歴や趣味などを把握し、それに合わせたアクティビティを提案することで、楽しみを持って生活していただけの支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じたドライブや、近隣への散歩などの支援をしている。必要のある買い物については付き添い支援をしている。	天気の良い日には利用者の体調に配慮しながら近くの公園へ散歩に行くほか、芝生の庭で外気浴ができるよう支援している。 年間の行事として観梅や花見、紅葉刈り、ドライブなどを実施し、季節感を味わえるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルの原因になる為、基本的には持参されないようお願いしている。一部の方のみ自宅で自分で管理している為、持参し、訪問カットの支払いなどを行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要望に応じて電話をしたり取りついたりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な空間作りを心がけている。デイルームは畳調の床で、家庭的な雰囲気演出している。家庭菜園もあり季節感を味わっていただけるよう支援している。	民家をリフォームしており、居間兼食堂や廊下はすきま風が入らぬようサッシ戸を取り替えるとともに、利用者が居心地よく過ごせるよう温度管理をしている。 夏季は東南向きのガラス戸に朝顔やゴーヤのグリーンカーテンを施したり、庭で苺やミニトマトを栽培して収穫するなど、生活感を取り入れている。 利用者と職員が制作した、季節の果物や風景をちぎり絵やはり絵で表現した作品を飾ったり、利用者の家族等や近隣住民から頂いた花を飾り、季節感を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	マイペースで生活できるよう、一人ひとりの希望や思いを尊重し、時には居室で休んでいただいたり、時には少人数で過ごしていただいたり、適宜対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	宿泊利用時は本人が使いなれたバスタオルやタオルなど、また、なじみの物や枕、写真など安心して泊まっていたるように持ってきていただくものに制限は設けていない。また居室はできるだけ同じ部屋を利用していただけよう配慮している。	泊まりの部屋には利用者と家族等が相談しながら、使い慣れたタオルケットや枕などの寝具や着替え、タオルなどを持ち込んでいるほか、孫と一緒に撮った写真や親戚に届けてもらった花、小物などを飾り、安心して居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	泊まりの方には、安心して過ごせるように、また、できるだけ自立して生活していただけるよう、声かけさせていただいている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 らいふホーム青葉台

作成日 平成26年2月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	全職員で話し合っ事業所独自の理念を作成することを期待する。	事業所独自の理念を作成する。	事業所独自の理念を作成するにあたり、現在、全職員で話し合いを重ねているところである。	4月までに達成の予定である。
2	33	事業所としてできることとできないことを明記した重度化・終末期対応指針やマニュアルを作成し、利用者や家族等に説明することを期待する。	終末期対応マニュアルの作成	事業所として出来ることと、出来ないことを明記したマニュアルを、上司と相談しながら作成し、ご利用者様やご家族等に説明していきたい。	上司と相談中。
3	35	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう、運営推進会議等で働きかけることを期待する。		昨年の11/20に夜間を想定した避難訓練を実施した。近隣の方々にもご参加いただき無事に終了。今後ご協力をお願いしていく。	
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。